

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2021年 6月 8日 No. 407

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2021夏季手当満額獲得のたたかいスタート!

全組合員・全社員でたたかいをつくりだそう!④

要求満額獲得



みんなの力で

6月4日に本部・本社間において夏季手当の「第2回団体交渉」が開催されました。夏季手当2.8ヶ月要求の満額獲得を会社側に強く求めてきました。

- ・社員は生活のために働いている。会社の発展と同時に、社員とその家族の生活を守るために夏季手当をしっかりと出し、社員と家族の安心・安定を図ること
- ・「会社の持続的成長のための投資」と「社員への投資」は両論である
- ・夏季手当は社員の生活費であり、黒字化のためにもこれ以上の人件費削減は認められない
- ・昨年のような「月額+〇万円回答」と、赤字下における「成績率（増額）の運用」は求めないように
- ・決算や経営体力を見て、中長期的に振り返り、健全な危機感に配慮しつつ慎重に判断して2.8ヶ月を求めている
- ・定期昇給が「2」係数になり昨年の2.8ヶ月要求とは違う
- ・過去最高の会社業績が続き右肩上がりの業績の中でも夏季手当は2.91ヶ月の横ばいであった。当時の経営側は「経営が苦しくなったときも安定支給ができるように」と回答していた

などを会社側に主張して、2.8ヶ月をはじめとするユニオンの全要求項目の満額回答を会社に求めてきました!

長野地本の各支部・分会で集会を開催していて、夏季手当等に対する意見を集約しています。もし夏季手当の回答で私たちの生活に不安定な要素を与えるようであれば、会社経営は必然的に不安定になりませんか?そんな状況下で積極的なチャレンジや自己啓発活動を社員に求め続ける会社の姿勢はいかがなものでしょうか?

夏季手当要求満額獲得に向けて共にたたかっていきましょう!